

事例 2. 私たちのまちはどのように変わってきたのだろう

概要
流れ
準備
展開

1 概要

目的	航空写真、地図を活用して、昔と今の校区の土地利用を比較し、何が増えて何が減ったかを確認することで、これからのまちづくりや環境にやさしい実践への動機を活性化する。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちがくらす地域の今と昔を比較し、将来の望ましいまちづくりやくらしを形成しようという動機を醸成する。 ・ 航空写真、地図を読み取る力を養成する。 ・ 地図から問題意識を生成する能力を養成する。 		
対象学年	4年、5年、6年	学習のタイプ	課題発見型学習
実施教科	総合的な学習の時間、社会、クラブ活動	連携教科	社会
標準校時	1～3校時	学習場所	教室
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト：航空写真（現在、過去）、校区地図（白地図） ・ ワークシート1：まちの変化 ・ ワークシート2：私たちのまちの未来(課題) 		
学習構成	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">1. 私たちのまちの昔と今を地図で比較しよう</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">2. 増えたもの、減ったものを確認しよう</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3. 私たちのまちの未来は？</div> </div> <p>今と昔の航空写真を見て、増えたもの減ったものは何かを調べよう。</p> <p>航空写真から、白地図に増えたものと減ったものを色塗りで確認しよう。</p> <p>過去から今への変化を通して、私たちのまちの未来をどうしていけばよいか課題を提案しよう。</p>		
支援・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政団体：標準テキスト、ワークシートなどの提供、出前講座 ・ 学識経験者：出前講座 		

課題発見型
実践型

2 標準的な学習の流れ

【連携】

- ・ 総合的な学習の時間：私たちのまちなどのテーマから、校区内の土地利用を調べて未来のまちづくりを考えようという動機を形成する。
- ・ 社会科：「公害と環境の保全」などから大気汚染に着目。

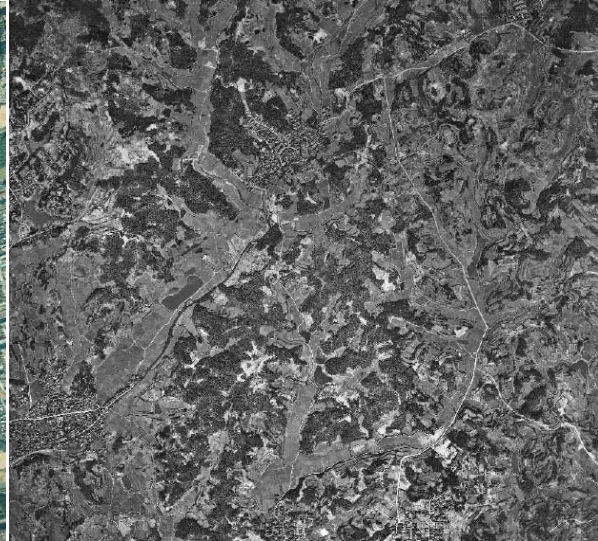
校時	学習活動	指導上の留意点
1	<p>◆ 私たちのまちはどう変わってきたかを見よう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今と昔の航空写真を見て比較する。 ・ 何が増えて、何が減ったかを読み取り、意見交換する。 ・ 土地利用の変化の背景にあるものを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空写真で変わったポイントを指摘することで、議論を活性化する。 ・ 土地利用の変化が生活とどう関連しているかを議論させることがポイント。
2	<p>◆ 増えたもの、減ったものを確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な用途を白地図に塗り分け、定量的に変化を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の塗り分け作業の支援が必要。道路、住宅、みどりが必須 (小学生には時間を要する場合が多いことに留意)
3	<p>◆ 私たちのまちの未来は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去から今への変化を私たちの暮らしと対応して、未来のまちづくりへの課題を抽出する。 ・ 感想文 (グループ討議、発表会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備だけでなく、ライフスタイルとの関連で、環境、交通、地域の産業などの課題も大きいことを示唆する。

3 準備

■テキスト 1: 航空写真(現在、過去)



撮影: 1999/5/7



撮影: 1948/3/19

出典: 国土地理院 空中写真閲覧サービス(<http://mapbrowse.gsi.go.jp/airphoto/>)

2003年 東泉丘小学校で使用

■テキスト 2: 白地図(校区地図)



■ワークシート1:まちの変化

まちの変化について

(名前)

■昔と今のちがいを地図で見よう
4枚の航空写真を見て、気がついたこと、感じたことをまとめて発表しましょう。

(1) 気がついたこと、わかったこと

(2) 思ったこと (感想)

(3) 他の人の意見を聞いて、分ったこと、思ったこと

4 授業への展開

(1)授業構成のパターン

①増えたもの、減ったものを確認しよう

- ・ 航空写真と地図の比較をして意見交換した後、出前講座で学習することも選択肢の一つ。
- ・ 白地図を使用して、土地利用の変化を塗り分ける作業は小学生には時間を要するため、省略することも可。

②課題発見学習との連動

- ・ 他の課題発見型学習：「校区内の空気を調べよう」、「地球温暖化を知っていますか？」と連動した構成も考えられる。

(2)学習の成果、児童の反応

ねらい	期待する反応、成果
航空写真、地図を読み取る力を養成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空写真と地図を対応付けることで、ある程度は土地利用の変化を読み取ることは可能である。 ・ しかし、航空写真には非常に興味を示すものの、詳細の用途は示唆する必要がある。
地図から問題意識を生成する能力を養成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅、道路、緑の変化は容易に認識して問題点の議論に結びつけることが可能である。 ・ 問題は多岐にわたるため、産業や暮らしなどの背景との関連付けをある程度示唆する必要がある。
将来の望ましいまちづくりやくらしを形成しようという動機を醸成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単に木を植えるといった対応だけでなく、くらしや産業との関連でも課題の提案が可能であることを示唆する必要がある。

豊川小学校での感想例

■気がついたこと、感じたことをまとめましょう

1961年	・田んぼや畑や山が多かった
	・住宅や工場は少なかった
	・歩道橋はなかった
1985年	・山や畑は少なくなって工場やマンションが増えていた
1993年	・ほとんど住宅とマンションと工場と建物でいっぱいだった
	・緑がほとんどなかった
2001年	・国道171号は太くなっている
	・緑は少ししかなかった
	・ほとんどが住宅であった

■思ったこと（感想）

- ・自然が昔より減ってきていると思った
- ・道路が増えた
- ・クルマが走るから排気ガスが増えて、自然破壊と思った
- ・1993年からゴルフ場ができていた
- ・人口が増えて、にぎやかでいいと思う
- ・10年、20年変わることによって家が増え、田や畑が減っている

■他の人の意見を聞いてわかったこと、思ったこと

- ・緑が少なくなっている
- ・モノレールができています
- ・昔は2車線であったが、今は4車線になっている
- ・昔に比べて家の数が違っている。

(3) 留意点、課題

- ・ 航空写真の比較については、子どもたちも非常に興味を示す場合が多いが、土地利用の塗り分け作業に時間を要すること、土地利用の背景を推察するには学習経験が少ないことから、これまでの実績ではプロセスの 2. 増えたもの、減ったものを確認しようという地図の塗り分け作業を省略する場合が多い。学校や児童の実情に配慮することが必要であると思われる。

5 支援・連携

(1) 支援と連携

支援・協力者	支援・協力内容
家庭	
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ チューター(増えたもの、減ったものを確認しようの作業支援)。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な教材、ワークシートの提供。 ・ 出前講座
学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座

(2) 参考文献、HP

- ・ 航空写真、白地図：国土地理院ホームページ
<http://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>

概要

流れ

準備

展開

課題発見型

実践型